

基本方針

一滴入魂

～地域の未来は、私達一人ひとりの、一つひとつの行動や言動に懸かっている～

副理事長 会員室担当 本田 洋明

春日部青年会議所はこれまで愛する郷土の発展と人間性の向上という創始の理念のもと、先輩諸氏の不断の努力によって本年で55周年を迎えます。今日に至るまで市民の意識へ働きかける力強い運動を数多く展開してきた春日部青年会議所ではありますが、創立後一度も途絶えることなく続いてきた大切な運動が会員拡大運動です。

会員拡大によって春日部青年会議所に新たな仲間を迎え入れることは、愛する地域のために率先して汗を流し行動する市民を直接的に増やすことに他ならず、そのような人々が地域に増えることは、地域の今、そして未来に対して良い影響を与えるに違いありません。しかしながら、新たな仲間となるべき入会対象者に対して、必ずしも春日部青年会議所の魅力が十分に伝わりきっていない現状があるのではないかと危惧します。この問題を解決する為に最も重要なことが、LOM一丸拡大に取り組むことであると考えます。つまり、青年会議所の魅力は多面的であり、その魅力は一言で語り尽くせるものではありません。青年会議所の様々な魅力を多くのメンバーの口から対象者へ伝えることで、まだ見ぬ多くの仲間を春日部青年会議所に迎え入れてまいりましょう。LOMが一丸となり、対象者のリストアップから新たな仲間として迎え入れるところまで、すべてにおいて一人ひとりが高い意識を持ち連携し合うことができれば、必ずや、より多くの入会対象者の心を動かす結果へつながると考えます。

また、入会后新たに加わった仲間である塾生には、入会同期の仲間意識を育みながら、JAYCEEとして、共に青天井ともいえる成長の機会に積極的に挑んでいてもらいたいと考えます。そのために、まずは密接な人間関係をつくりサポートを行い、わからない事があれば、その意義、理由から丁寧に説明を行います。そうすることで、塾生が入会してすぐに迷いなく青年会議所での活動や運動に打ち込めることにつながると考えます、いつか入会同期という偶然のつながりが、生涯続く友情を育むこともあれば、時としてライバルともいえる存在となり、自分を成長させてくれる糧ともいえるべき刺激を与えてくれるでしょう。そんな青年会議所の醍醐味を感じてもらうことが、個々のさらなる成長を促すこととなります。塾生の成長は、現在、そして未来の青年会議所運動をより力強いものとしてくれるこ

とでしょう。

結びに、会員室では本年が55周年という極めて重要な節目の年であるからこそ、多くの新たな仲間とともにこの1年間を経験し、共に成長したいと考えます。会員拡大が市民意識変革運動と言われるとおり、私達一人ひとりの、一つひとつの行動や言動でその人の心を動かすことができるか否かが懸かっています。我々自身がこれまで享受してきた地域における恩恵を、次の世代へと確実につなげるために、まだ見ぬ多くの仲間と、入会后間もない塾生に対して、青年会議所の魅力や醍醐味をあますことなく伝えてまいりましょう。

一年間どうぞよろしく願いいたします。

基本方針

率先垂範

～地域に必要な組織づくりのために～

副理事長 総務室担当 小川 哲史

公益社団法人春日部青年会議所は、これまで愛する郷土の発展と人間性の向上のためという創始の精神を55年間に亘り、脈々と受け継いできました。これも先輩諸氏が積み重ねてこられた地域に対しての途絶えることのない情熱と、これまでの地域の皆様からの絶え間ないご支援・ご協力の賜物であることに改めて感謝申し上げます。これからも、この地域に向けた情熱を未来に託すためにも、まずは総務室が率先垂範を胸に一年間春日部青年会議所を支えてまいります。

本年度総務室は、春日部青年会議所の組織の根幹として、最高意思決定機関でもある総会や理事会の設営はもとより、メンバーが日々、一人ひとりの持てる最大の力を運動に傾けられるような環境づくりを行ってまいります。そして、これまで脈々と行われてきた先輩諸氏からの恩恵でもある「英知」とも言うべき各種資料や備品の管理を徹底していきます。55年という長い歴史を持つ春日部青年会議所が、さらに未来に向かって力強く発展していくためにも、適正且つ円滑な組織運営を継続して行っていくと共に、常に自らを律し襟を正し行動していきます。

また我々、春日部青年会議所が公益社団法人としてこれからも地域の皆様からご理解・ご協力を得ていくためには、今後も信頼される組織である必要があります。しかし、地域を巻き込んだ運動を展開していく組織の一員として、法令遵守・定款遵守も当然のことではありますが、改めて自分自身の行動やモラル、社会的良識についても遵守できているのでしょうか。これまで先輩諸氏が培ってこられた地域との55年に亘る信頼関係を未来に引き継ぐために、公益社団法人としての厳格な財務管理・事業運営の透明性を確保すると共に、コンプライアンスの遵守を行ってまいります。そうすることで、春日部青年会議所メンバーが地域の方々に対して模範となるような姿勢で運動を行う事ができるでしょう。それが自分の会社や所属する組織・団体に役職を担う春日部青年会議所メンバーの意識向上や、地域の方々の信頼関係強化にも繋がり、これからも地域を巻き込んだ多くの運動展開を力強く行っていく事ができるでしょう。

最後に総務室として、これまで積み重ねてきた信用という名の「誇り」を受け継ぎ、次代に託していく「責任」を持って、これからも信頼され続ける組織になるために、今、歩むべき道に徹しよう。

一年間よろしく願いいたします。

基本方針

探究しよう 愛するまちの未来に向かって

～まちのために率先して行動するアクティブな市民の創造～

副理事長 未来創造室担当 栄 寛美

私達が活動する地域は、かつては自治会や隣近所の支えあいが見られたように、人と人との関わり合いが深く、例えば伝統あるお祭りや諸行事などを通じて共通のまちへの想いや愛着が醸成されていたと感じます。そのような関わりの中で育まれたまちへの愛着は、まちの為に何か出来ることはないかという「公」という精神へと繋がっていたと考えます。

しかし、現在の地域社会は「まちへの無関心」「人と人のつながりの希薄化」が表面化していると感じます。それではまちへの愛着が無い人で溢れてしまい殺伐とした未来になってしまうでしょう。だからこそ今、地域の大人達が未来を担う子ども達と共にまちへの愛着を醸成することが必要です。

そのため未来創造室は、未来を担う子ども達に自分のまちを良くしたいという気持ちを育む機会を提供してまいります。子ども達のその気持ちこそが、自分自身の事だけでなく、「大好きなまちの為に」と行動できる豊かな心へと成長するのです。それが地域の大人たちにも伝わることで、共にまちへの愛着を醸成することに繋がるでしょう。

現在、社会の変化や技術の進歩は著しく、例えばインターネットを調べれば答えになりそうな事が無数にあるなど、情報化社会の進展はスピード感を増しています。また、技術の進歩は社会のあり方を大きく変える為、未来は予測困難な状況にあります。そのような社会においても、子ども達が未来をたくましく生きるためには、「自ら考え行動する力」が必要です。なぜなら、なぜそうなのかを聞いたり考えたりすることが自らの探究心を促し、物事を深く理解しようとする力が養われるからです。その力によって子ども達が大人になった時、今では考えることの出来ない新たな課題にも立ち向かう気概を育むことが出来るのです。

そのためにまずは、子ども達の主体的に知りたい、やってみたいという気持ち「知的好奇心」を育ててまいりたいと考えます。「知りたい」「やってみたい」という知的好奇心の芽をまずは身近にある地域社会や自然の中で養ってまいりましょう。

子ども達が大切なまちのためにという愛郷心と自ら考え行動しようとする知的好奇心を

兼ね備え、まちの為に率先して行動できることが今、私達の出来る未来に備えたまちづくりです。

一年を通じて、「大切なまちの為に自ら考え行動する」心を育ててゆこう。

そして身近な「まちの大人」である私達は、子ども達の心を動かす為に、率先して未来にワクワクしている姿を見せてゆこう。

一年間よろしく願いいたします

室方針

想いを未来へと繋げよう

～過去と未来を繋ぐ今を生きる大人として～

副理事長 国際室担当 小笠原拓也

近年のグローバル化の進展を背景として、世界の人同士の繋がりが強くなっていく中、自身とは異なる文化や歴史を持つ人々と共存し、世界規模で、今現在直面している様々な問題や、今後新たに生まれる課題など、互いに手を取り共に解決していかなければならない場面は今まで以上に増えてまいります。

大きく変化していく未来へ向け、「今」を生きる我々大人と、未来を生きる子ども達は世界の人々と、どのように向き合っていかなければならないのでしょうか。

世界の人々と肩を並べ、語り合っていく為には、「自分の生まれた国」について胸を張って語る事ができる、という事が大切です。

しかし、自分の生まれた国すら知らなければ、相手からの質問すら答える事ができない上に、相手の国を深く理解しようとする事もできません。

自分の生まれた国について、胸を張って語る事が出来るためには、日本という国が世界に誇る歴史に触れてまいりましょう。そこには出来事の羅列だけではない、先人達が、私達へと残してくれた未来へ託す「想い」があるはずです。その「想い」は、必ず自分の国を大切にしたいという気持ちを育むことができると考えます。自分の国を大切にしたいという気持ちがあれば、国が異なっていたとしても、互いが相手を理解しようと歩みより、互いを尊重し合える良好な関係へと発展できるはずです。まずは今を生きる我々大人が、その「想い」を知り、そして未来の子ども達へ伝える事が出来る、責任ある大人へと成長してまいりましょう。

パサディナホームステイプログラムは「両J C間の理解と友情」を大きな目的とし、本年度で35年目を迎えます。この長い歴史の背景には、相手へのおもいやりの姿勢の中で生まれた、国境を越えた友情という絆が育まれてきたのだと考えます。この絆を未来へと繋げていくためにも、多くのメンバーでパサディナの地へと赴き、パサディナ青年会議所メンバーに、これまで継続することが出来た絆への、感謝の気持ちを伝えてまいりましょう。

更に「地域社会の国際化」という目的を持つこのプログラムは、これまで多くの地域の青少年に、人生の可能性を広げる機会を提供してまいりました。

渡米する本年、歴史も価値観も何もかも全く異なる地で、多くの人々との交流の機会を提供してまいりましょう。言葉が通じ無くても、肌で感じる同じ人同士の交流は、感謝の気持ちだけでなく「自分の考えが正しい」という小さな価値観を破り、「今自分の見えている世界だけではなく、自分自身にはまだまだいろんな可能性がある」という新たな成長を与えてくれることでしょう。

最後に国際室では、これから大きく変化する未来を生きる子ども達が、世界の人と肩を並べ語り合い、魅力ある人に成長できるように、まずは私達が自分の生れた国について胸を張って語れる大人になってまいりましょう。

そのために多くの人の想いに触れ感謝の気持ちを持ち、しっかりと未来を生きる子ども達にその想いを繋げてまいります。

一年間よろしくお願ひ致します。

基本方針

徹頭徹尾

～歴史に感謝し情熱をもって行動しよう～

専務理事 広報室担当 平田洋介

公益社団法人春日部青年会所は、55年間にわたり「愛する郷土の発展」と「人間性の向上」を目的に運動を展開して参りました。55周年を迎える本年、歴史を紡いでこられた先輩諸氏の弛まぬ努力と地域の皆様のご理解ご協力で改めて感謝申し上げます。

本年度、広報室では地域の皆様に春日部青年会議所の魅力を広く発信し、一人でも多くの方に春日部青年会議所のファンになって頂く事を最大の目標とし情熱をもって活動してまいります。

まずは、春日部青年会議所が行う55年間培われてきた運動に対する想いと、これからの地域の未来へかける情熱、つまり、春日部青年会議所プライドを地域の皆様に知って頂かなければなりません。地域の皆様に、我々が行う運動の意義を知っていただき共に行動しようと思いを動かすことができれば、「明るい豊かなまち」へ向かって運動はより加速していくでしょう。

そのために事業や活動の内容が、地域の皆様の目に留まるように既存の媒体をより充実させていき、その他にも、新たな方法を模索して広報活動をしてまいります。

私たちが今後も力強い運動を展開して行く為には、日ごろより春日部青年会議所の運動に、ご理解、ご協力いただいている行政、地域企業、各種団体、先輩諸氏の皆様とのつながりを大切にしていかなければなりません。皆様との大切なつながりは私たちの今現在だけでなく、今後の運動の大きな支えです。この大切なつながりを途切れさせない為に、先輩諸氏が今まで育まれてきた地域の皆様とのつながりに感謝の心を持ち、行動ひとつひとつ誠意ある対応をしてまいります。また、春日部青年会議所の窓口として情報の受発信を迅速な対応を以て活動することによって、今後も変わらぬ信頼と協力関係を継続してまいります。更に我々春日部青年会議所メンバーの、運動に活かすことのできる春日部青年会議所内外の様々な情報を集め、春日部青年会議所メンバーに発信してまいります。

本年、広報室では、「春日部青年会議所プライド」を力強く発信していくと共に、春日部青年会議所の窓口として責任を持ち、地域の皆様との大切なつながりに感謝して、今まで以上に信頼関係で結ばれるよう誠心誠意努めてまいります。

一年間よろしくお願いいたします。

会員拡大会議基本方針

人間関係作りから始まる拡大運動

～人と向き合い、己と向き合うことで心は動く～

会員拡大会議 議長 山口 隆顕

創立以来、春日部青年会議所は愛する郷土の発展と人間性の向上を掲げ運動を展開してまいりました。そして55年間途絶えることなく継続してきた運動が会員拡大運動であります。

春日部青年会議所における会員拡大運動とは市民意識変革運動です。青年会議所に入会することで率先して地域の課題や問題点を見つけ出し、解決していく強いリーダーシップを持った人財が次々このまちに増えていきます。そうすることこそが私たちの目指す理想の地域へとつながると考えます。また、春日部青年会議所で活動できる期間は40歳までです。会員拡大をしないことには地域に対する力強い運動が出来なくなってしまう恐れがあります。だからこそ、今後もまだ見ぬ新しい仲間を迎え入れ続けましょう。

そのために、入会して自身がどのように変わったのか、メンバー一人ひとりが対象者と向き合って春日部青年会議所の魅力をしっかりとわかりやすく伝えてまいりましょう。

対象者の心を動かすのは、一人ひとりの人間関係づくりから始まるものだと考えます。自身の言動を今一度振り返り、身だしなみや振舞い等が青年経済人として相応しいかどうか考えるとともに、メンバー一人ひとりがLOMの顔として意識を高めることが必要と考えます。

また、入会するにあたって対象者の方の不安を取り除いてあげることが必要です。私自身、入会前はどのようなメンバーがいて、どのような組織であるのか、また入会することでどのような学びになるのか不安を抱えておりました。オブザーブする機会を増やしていく中でメンバーとの交友を深め、徐々に不安は和らいでいき入会を決意することに至りました。だからまずは、対象者の方の不安を解消するための時間を作り、懇切丁寧に説明をすることが必要です。

そこで、メンバーに対しては、拡大に取り組みやすい体制づくりを行います。具体的には対象者リストを定期的に精査し、更新するとともに、新しい情報を引き出せるようにメンバーに対して働きかけていきます。また、メンバー全員を構成員とする拡大会議を原則月1回開催し、情報の共有化を図ります。

そして、対象者に対してはメンバー一人ひとりが春日部青年会議所に入会してどのように変わったのか、またどんなことに夢中になって取り組んでいるのかを説明できるようにし、春日部青年会議所の魅力をしっかりとわかりやすく伝えていきます。さらに、対象者が何に興味を持っているのか、またどのような不安を抱えているのかを把握し、真摯に接することで信頼関係を築いてまいります。

本年度会員拡大会議では、「どのようにしたら人の心を動かすことができるのか」をテーマに掲げ、メンバー及び対象者との人間関係づくりに注力していきます。

私たち自身がしっかり「人として」信頼できる行動、言葉遣い、振る舞いが出来ているのか常に意識しながら拡大運動に邁進してまいります。

一年間よろしくお願いたします。

【事業計画】

- (1) 会員の拡大に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 会員の入会に関すること。
- (3) スポンサーに関すること。
- (4) 例会・事業のオブザーバー参加者の出席記録に関すること。
- (5) 入会対象者に関する資料の収集及び管理に関すること。
- (6) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。
- (7) 中期運動指針に関すること。
- (8) 創立55周年に関すること。

JAYCEE 育成塾 基本方針

参加する姿勢がすべてである

JAYCEE 育成塾 塾長 岡田 太陽

私は、入会間もないメンバーを「目標に向かってがむしゃらに行動し、多くの人を巻き込み、周囲に好影響を与える真の JAYCEE」へと導いていきたいと考えています。

そのために、組織としてやるべきことは何でしょうか？

それは、メンバーにより良い変化をもたらす力を与えるために、発展・成長の機会を提供することです。そして、成長を遂げたメンバーが青年会議所という枠を超えて、様々な組織、企業、取引先、顧客、社会に良い変化をもたらすインパクトを与えられる人材になって欲しいと考えています。

しかし、入会間もないメンバーがこのような素養を身につけていることは稀です。そもそも、青年会議所運動の意義や目的、楽しさがわからず参加することにすら、ためらいを感じているのではないのでしょうか。参加する前に思い込みで、批判的な気持ちが先行しているかもしれません。人と人、メンバー同士の血が通い感情のはたらいたコミュニケーションが不足しているかもしれません。

かつて、先輩方はこう言っていました。文句を言う前に全部の事業例会に参加して経験してみろ、と。だからその言葉通り、私は何でもまず参加してきました。大変だったけれど経験してはじめて、ひとつひとつに意味があり、良さがあると分かりました。

また、先輩方は自分と多くの時間を過ごし、やさしく話を聞いてくれ、時には叱咤激励し、濃厚な人間関係というものを身をもって見せてくれました。そんな先輩方の言葉は、すんなりと受け入れられ、その人のためになりたいと思いました。

故に、JAYCEE 育成塾では塾生に一番近いところで、常に参加したいと思えるような居場所を作り、まず行動すること、経験することの重要性を伝えます。そして、様々な成長のチャンスである例会、事業、および、日本青年会議所や埼玉ブロック協議会、他 LOM などの学びの機会を自らつかみに行く姿勢を育みます。その過程で、一 JAYCEE として、人を巻き込み、人の心を動かすうえで最重要である人と人とのコミュニケーションと絆の大切さを伝えます。

塾長と副塾長が入会以来身につけてきた行動力と大きく広げてきたネットワークを活用し、塾生に成長の機会を与え、意識を変えてまいります。その先に、社会を変える運動が出来る人材になることを目指して。

それが、人を育てる私たち自らに与えられた成長の機会であると捉え、歩むべき道に徹し

てまいります。

一年間よろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 新入会員へのオリエンテーションに関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 古利根川清掃の実施に関する事。
- (3) 藤まつりへの参加に関する事。
- (4) 卒業式に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (5) その他新人会員に関する事。
- (6) スポンサーに関する事。
- (7) 会員の拡大に関する事。
- (8) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。
- (9) 中期運動指針に関する事。
- (10) 創立55周年に関する事。

55周年実行特別委員会 基本方針

勇往邁進

～私達は、愛する地域の未来のための礎となり、
覚悟を持って青年会議所運動に邁進する～

55周年実行特別委員会 委員長 本田 洋明

公益社団法人春日部青年会議所は、本年55周年という節目の年を迎えます。企業の平均寿命はおよそ30年とも言われる時代の中で、単年度制及び卒業制により組織の新陳代謝が極めて早い春日部青年会議所がこれまで長きにわたって歴史を紡ぐことができたのは、創立から現在に至るまで時代は変われども、バトンを大切につないでいただいた先輩諸氏の不断の努力によるものに他なりません。私達がこの55周年をただの通過点としてしまうのか、それとも重要な年にとらえ、先輩諸氏や地域の皆様へ感謝を伝え、飛躍を誓い、未来へ向けた青年会議所運動へつなげていくことができるかは私達一人ひとりの意識と行動に懸かっています。

周年を迎える本年は、これまでお世話になった地域の諸氏諸団体、先輩諸氏、行政の皆様をお招きし、今日までの春日部青年会議所運動を振り返りながら、お支えいただいたことに対する感謝の気持ちを直接伝えることのできる数少ない貴重な機会であります。だからこそ、私達は周年を迎えるこの機会において、ご来場いただいた皆様に対し、メンバー一丸となり、礼節をもって感謝の気持ちをお伝えしましょう。それにより、皆様との関係をより強固なものとすることができ、5年後、10年後といった未来におけるより力強い青年会議所運動の展開へと必ず結びついてまいります。

また、青年会議所における周年は、私達のさらなる飛躍をお誓いする場として、これまでも重要な意義を有してきました。今後も直面するであろう新たな地域社会の問題を解決するのは、心身ともに充実期である私達青年の責任であるという強い気概が必要となると考えます。その上で、私達が決意をもって、地域の皆様の意識に働きかける青年会議所運動を継続していかなければ、明るい未来を次の世代へ託すことはできないと危惧します。私達は周年において、未来へ向けて力強く飛躍をお誓いすることで、今後も青年会議所運動へ邁進していく覚悟をより一層強く持つとともに、地域の皆様から期待を向けていただけるような運動を展開してまいります。

ところで、未来の地域社会を担っていくのは、今の子ども達であります。しかし、子ども達が大人へ成長していく過程で、社会を取り巻く環境も著しく変化し続けていくと言われ

ています。そのような中で、子ども達が既存の概念にとらわれず、未来をたくましく生き抜いていく力を育めるように、まずは、現在進行形で最も子ども達に影響を与え得る私達大人が、今一度子ども達の成長を真剣に考える必要があると考えます。予測困難な未来であるからこそ、子ども達とどのように接し、どのような経験をさせてあげることが将来に生きていくのか、子ども達の成長にまつわる大切なことを、まずは地域の大人達がしっかり理解し、行動へつなげていくことができるための機会を提供いたします。

55周年を迎える本年、私達は、愛する地域のより輝かしい未来を創り出すための礎（石据え）となるべく、覚悟を持って春日部青年会議所の運動により一層邁進してまいります。

一年間よろしくお願いたします。

【事業計画】

- (1) 創立55周年に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 5月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 7月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 会員の拡大に関すること。
- (5) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。
- (6) 中期運動指針に関すること。

総務財務委員会 基本方針

じっせんきゆうこう 実践躬行

～いつまでも信頼される組織であるために～

総務財務委員会 委員長 桑原 弘樹

公益社団法人春日部青年会議所は今年度創立55周年を迎えることとなります。これも半世紀以上にわたり、「愛する地域の発展と人間性の向上」という創立当初の目的のもと弛まぬ努力をし続けてきていただいた先輩諸氏、そしてこれまで私たちの運動にご理解、ご協力をしていただいた春日部市、杉戸町、宮代町の地域の皆様方のおかげによるものです。先輩諸氏と地域の皆様への感謝を深く胸に刻み、これからも力強く運動を発信していくために、地域から必要とされる組織を目指して、まずは総務財務委員会が率先して行動してまいります。

総務財務委員会では、組織の根幹として、J Cルームの管理運営、デジタルアーカイブの管理や更新など、組織内でのメンバーの活動がより円滑になるような環境づくりを行っていきます。そうすることで、各委員会がそれぞれの例会、事業に対して全力を注ぐことができ、地域に向けた運動をより力強く行っていくことに繋がるでしょう。また、最高意思決定機関でもある総会を厳粛に設え、公正かつ適正な運営を行ってまいります。理事会においては、各委員長と資料の確認を密に行い、円滑に運営できる環境を整えていくと共に、議事録に関しても署名人と確認しあうことで誤字脱字などを無くし、今後閲覧しやすい状態でデジタルアーカイブに残していきます。そして、春日部青年会議所の運動を支える皆様から預かった大切な会費においては、適正な財務管理を継続して行っていくために、財務審査会議を運営してまいります。

本年度55周年を迎えられるのも、これまで地域の皆様から多くのお力添えをいただいたからです。この節目の年に、地域の皆様に春日部青年会議所一丸となって感謝を伝えるために、組織を支える総務財務委員会として、委員会の垣根を越えてメンバーに目を向けていき、組織全体として団結させていく必要があると考えます。そのためには、すべての委員会と繋がりを常に持つ特徴がある総務財務委員会が、メンバーの情報などにアンテナを張って目を配り、フォローしていきながら情報共有を徹底していきます。メンバー一人ひとりの動向に注視し、より詳細な会員名簿データを随時更新していくことでフォロー体制を整えることができ、メンバーの絆も強固なものとなるでしょう。そうすることで、各例会や事業

に対しての出席率向上、そして、春日部青年会議所としての組織力向上にも繋がるはずです。

我々、春日部青年会議所は「公益社団法人」として信頼される組織であり続けなければなりません。なぜなら、これまで培ってきた信用をこれからも継続していき、私たちの運動を理解してもらい、今後ご支援、ご協力をいただくことで、これからも地域に対して、力強く運動を展開していくことができるからです。そのためには、「公益社団法人」として年間を通して厳格な組織運営を行っていくと共に、メンバー一人ひとりが改めて信頼されるに相応しい行動をしていく必要があります。メンバーが人として大切な価値観を理解し、行動していくことで、これまで先輩諸氏が絶えず燈し続けてきた、「規律を守り、礼節を大切に」という模範となるような組織運営を継続し行うことができ、これからも地域に根差した未来に繋げる運動を行っていくことができるでしょう。本年度、総務財務委員会では、地域の方々から継続した信頼を得るために、コンプライアンスや今の時代の「人との接し方」にも目を向けていきます。そうすることで、青年会議所間や対外的な場面だけでなく、会社や家庭に持ち帰ることができ、今後もメンバー一人ひとりが成長し、組織として更に信頼されることでしょう。

LOMの根幹として支えるだけでなく、メンバーから頼られる委員会運営を目指していくと共に、まずは筆頭委員会の総務財務委員会が自らを律し襟を正し、率先して模範となるような行動をしてみたいです。

一年間よろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 定款、諸規定に関する事。
- (2) 総会・理事会の設営および関連資料の作成。
- (3) 会員名簿の完備、ハンドブック・名刺の作成。
- (4) 褒賞、表彰に関する事。
- (5) J Cルームの管理及び物品備品の保管、管理に関する事。
- (6) デジタルアーカイブ（各資料のデジタル化と管理）に関する事。
- (7) 例会・事業に於ける会員の出欠記録に関する事。
- (8) 会費の徴収に関する事。
- (9) 財務の管理。
- (10) 各委員会との連絡調整。
- (11) その他各委員会に属さない事項に関する事。
- (12) 会員の退会に関する事。
- (13) 会員の拡大に関する事。

(14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関する事。

(15) 中期運動指針に関する事。

(16) 創立55周年に関する事。

子どもの未来創造委員会 基本方針

地域の未来、子ども達の未来のために

子どもの未来創造委員会 委員長 村田 晶哉

私達の活動エリアである春日部市、杉戸町、宮代町はこれまで、愛郷心を持つ人々が自分の「まち」を良くしようと自ら行動してきたことによって発展してきました。

しかし、現在はご近所の方々との付き合いが減少しており、人と人の繋がりが希薄化して、まちへの関心も薄れてきています。普段は何気なく暮らしているまちとの繋がりが、人同士の関わり合いがなければ、「まち」を気かけたり好きになったりすることはないでしょう。

まちを好きではない状態の人がただ住んでいるだけになってしまっただけでは、まちの未来を考えるどころか、良いところや大切にすべきことにも気がつかない状態、つまり「自分達のまち」であるという意識が低下し続ける事になってしまうでしょう。

「自分達のまち」という意識を持った子ども達が多くこの地域にいて、いずれ子ども達が大人になった将来に、一人一人が「自分達のまち」を良くしていこうと自ら進んで行動している、愛郷心の溢れているまちになるはずです。

そこで、本年度、子どもの未来創造委員会ではまちの未来のために、子ども達にとって自分が普段生活している身近な場所や自然環境を通して、まちを好きになる気持ちを育ててまいります。そのために、子ども達が、自らまちの環境を進んで改善し、人と人の関わりや、まちとの接点を作っていく機会を提供いたします。

そうすることで、子ども達は、まちに対して愛着が湧き、「自分達のまち」を大切に思うようになるでしょう。

また、今後は特に、科学技術の進歩により社会が大きく変わる可能性が高く、子ども達が大人になった時に、どんな未来が待ち受けているのか予測が困難であります。言われたことや決まったことをやるだけでは、今ある仕事はロボットに奪われてしまうでしょう。

子ども達が今、取り組むべきは、「なにが問題か?」「どうすればいいか?」を他者から与えられるのみではなく、自ら考える能力を身に付けて、それを実践していくことではないでしょうか。

なぜなら、自ら考え行動できるということは、どのような環境に置かれても自分でどうしたらいいか考え、目的に向かって対策をし、解決していこうという自分の内から出てくる積極的な意欲だからです。そうした意欲は、未来を生きる子ども達が変化を続ける社会環境の

中で、力強く生きていくために必要なものとなってくるでしょう。

そして、多くの子ども達が自ら考え行動できるようになれば、将来、まちのために何ができるかを率先して考えて行動する人が多くなっていくはずです。

そこで、子どもの未来創造委員会では、子ども達に身近な自然を通して自ら考え、調べる機会を提供し、もっと知りたい、やってみたいと思う気持ちを高め、それを実際に例会で行動に移すことで、自ら考え行動する力を育みます。

一年を通じて、子ども達が「自分達のまち」という気持ちと、「自ら考え行動しよう」とする力を兼ね備えることで「大切なまちのために自ら考え行動できる」力を育みます。

また、未来を生きる子ども達に向けて取り組むことも重要であります。同時に今のまちを担っている大人達にも「自分達のまち」のためという意識を持ってもらうことも必要だと考えます。子ども達にとって身近な「まちの大人」である私達が、まちを良くしようと進んで行動する姿を見せ、子ども達の心を動かしたいです。

10年後、20年後の未来を生きる子ども達の成長と、自分達の住むまちが更に「明るい豊かなまち」となるために真剣に行動してまいります。

一年間よろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 愛郷心溢れる地域社会の創造に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 次世代の育成に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 4月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 11月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (5) 会員の拡大に関する事。
- (6) 中期運動指針に関する事。
- (7) 創立55周年に関する事。

国際交流委員会 基本方針

かんおんたいとく 感恩戴徳

～歴史と絆を未来へ～

国際交流委員会 委員長 白石 博樹

春日部青年会議所とアメリカ合衆国カリフォルニア州パサディナ青年会議所とのホームステイプログラムは両青年会議所の「理解と友情」のもとに育まれた絆と、数多くの先輩諸氏のご尽力、地域の皆様のご協力があり築き上げられた歴史があります。

その歴史は本年で35年目を迎え、今後も絶やすことなく継続していかなければなりません。なぜなら、両青年会議所の間で35年の長きに亘り、揺らぐことのない「理解と友情」があるからこそ、今後もホームステイプログラムを継続することができ、更に地域の青少年に対し多くの貴重な経験を提供していくことができるからです。そのためには春日部青年会議所メンバーがパサディナ青年会議所メンバーに、これまで継続できたことへの感謝の気持ちを伝え、新たな友情と更なる絆を深めていくことが大切であると考えます。

しかし、本事業に関わったメンバーは年々卒業し、現在4割以下しか経験しておらず、その内、渡米経験のあるメンバーは2割にも満たないのが現状です。このままでは、これまでの歴史と友情の中で育まれた絆が希薄となり、その想いを未来の春日部青年会議所メンバーに伝えることができなくなってしまい、更には地域の青少年に対し貴重な経験が提供できなくなってしまうと考えます。だからこそ、渡米経験のない多くのメンバーも加えて、パサディナの地へと赴き、パサディナ青年会議所メンバーに感謝の気持ちを伝え、新たな絆を育んでまいりましょう。

また、近年のグローバル化に伴い世界の人と簡単に繋がれる昨今、多くの「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」が、活発に行き交い、その中には目に見えるものだけでなく、各国の文化や様々な価値観も同時に受け入れなければならない時代へと変化してきているのではないのでしょうか。そのような時代において、特にこれから社会へ出る青少年は今後、更に異国の人との関わりが増え、言葉や文化の違いを乗り越え、互いを理解しなければならない機会が増えていくと考えます。しかし、異国の人と関わる機会があるにも関わらず、まだまだ狭い視野に捉われてしまい、相手を理解しようと出来ていないのではないのでしょうか。自ら相手を理解しようとする気持ちが持てないと、「自分の考えだけが正しい」、「自分の考えだけが伝われば良い」という考えになってしまいます。その考えは、相手に対して見えない距離を作り、狭い視野の人になってしまうのではないのでしょうか。

そこで、地域の青少年にはパサディナホームステイプログラムを通して自分が持つ狭い視野を知ること、自身を見つめ直す機会とし、相手の立場になって物事を考えられる人物になってもらいたいと考えます。

そうすることで異国の人であっても相手の立場や、相手が何を考えているかを尊重し、そして自身の考えを伝えられるような人へと成長できることでしょう。

ホストファミリーやパサディナ青年会議所メンバーは、訪問団の気持ちを読み取ろうと、一生懸命に寄り添ってくれます。その時間を共に過ごすことによって生まれる感動や、相手への感謝の気持ちは、訪問団の言葉や文化の壁を取り除いてくれるでしょう。

だからこそ、多くの春日部青年会議所メンバーや地域の青少年にパサディナホームステイプログラムに参加してもらい、多くの感動や感謝の気持ちから、「両 J C 間の理解と友情」を育み、地域の青少年にも新たな視野を広げられる機会を提供してまいります。

35年の節目である本年、これまで築き上げてきた「両 J C 間の理解と友情」を次の世代へと引継ぎ、青少年達と共に感謝の気持ちを伝えにいきましょう。

一年間よろしくお願いいたします。

【事業計画】

- (1) 国際交流に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) パサディナ青年会議所との交流事業の計画・立案・実施。
- (3) 8月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 会員の拡大に関すること。
- (5) 中期運動指針に関すること。
- (6) 創立55周年に関すること。

日本の誇り醸成委員会 基本方針

自国の誇りを受け継ぐ

～未来を生きる子ども達のために～

日本の誇り醸成委員会 委員長 板垣 浩太

近年グローバル化が進み、海外へ行く機会や、海外の人と話す機会も多くなってきています。そのように世界の人と関わる機会が増える中で、歴史や文化の違いに戸惑う事もあります。今後ますます世界の人の繋がりが多くなる中、私たちの国とは違ったそれぞれの歴史や文化を理解しあうことで、これから起こりうる、新たな課題を共に解決できる良好な関係が築けるでしょう。

お互いを理解していくためには、まずは自分自身を理解していなければなりません。なぜなら、自分自身を理解することで、相手との違いに気が付き、更に互いの価値観をも認め合うことができるからです。

世界の人と良好な関係を築くためにまずは、自分自身のルーツともいべき生まれ育った国の歴史や文化を知り、自信を持って世界の人々と語ることができるということが大切であると考えます。

自国について自信を持って語るためには、日本という国に対しての「誇り」が何より重要です。その「誇り」とは、歴史や文化に隠された先人たちの未来へ残した「想い」から感じる過去への感謝だと考えます。しかし、今まで私たち大人が教育の中で学んできた歴史からは、先人たちの「想い」までは読み取ることができず、その「想い」から感じることで、感謝の気持ちが希薄しているのではないのでしょうか。

だからこそ過去の歴史から先人たちが、未来を生きる私たちを想い、どのように国の歩みの選択をしてきたかを学んでまいりましょう。その先人たちの「想い」を知ることができれば、過去への感謝の気持ちが芽生えてくるはずです。

更に私たちの住む日本という国には世界に誇るべき長い歴史があります。その長い歴史の中には、今の日本人としての姿勢や考え方などのすばらしい価値観が散りばめられています。しかし、私たち大人は自ら学ぼうとする機会が少なく、普段過ごしている中でその価値観に触れることができなかつたのではないのでしょうか。その価値観に触れることができれば、私たち大人は自国を好きな気持ちから、この国を大切にしたいという気持ちが醸成されるでしょう。

だからこそ私たちの生まれた国にある、世界に誇るべき長い歴史の中から、日本人としての姿勢や考え方などのすばらしい価値観を学んでまいりましょう。

私たち大人が過去への感謝、自国を大切にしたいという気持ちを持ち、自信を持って自国を語ることができれば、未来を生きる子ども達にも繋げていこうとする意志が芽生るでしょう。そしてその未来を生きる子どもたちは、どんなに異なる価値観の人々と出会ったとしてもお互いを認め合い、対等に歩いていき、更に自国の誇りを次代へと繋げていってくれることでしょう。まずは、私たち大人が自信をもって自国を語れるようになりましょう。

本年度、日本の誇り醸成委員会では、私たち大人が自国に誇りを持つ事ができる機会を提供いたします。私たち大人が子どもの未来を築くのだと自覚し、気概を持って取り組んでまいります。

一年間よろしく願いいたします

【事業計画】

- (1) 会員の資質向上に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (2) 3月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 6月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 10月例会に関する調査・研究・計画・立案・実施。
- (5) 会員の拡大に関すること。
- (6) 中期運動指針に関すること。
- (7) 創立55周年に関すること。

広報渉外委員会 基本方針

凡事徹底

～地域の未来へかける情熱を絶え間なく発信し続けよう～

広報渉外委員会 委員長 山田 正典

春日部青年会議所がより力強い運動展開をして行くためには、一人でも多くの地域の方が我々の運動に興味をもって頂き、さらに理解して頂くことで、賛同者となってもらうことが必要です。そのために、55年もの間、培われてきた春日部青年会議所の運動に対する誇りと、これからの地域への未来にかける情熱を地域の皆様に知って頂きたいと思えます。本年度、広報渉外委員会では、まずはホームページを見てもらうために積極的に様々なツールを利用して例会、事業での地域にかける情熱を発信してまいります。そこで、運動をより地域の皆様に知って頂くために行政・記者クラブを通じてプレスリリースする他、地域情報誌に掲載頂けるように関係を築いてまいります。そして、私たちの一番の理解者である先輩方に於かれましても私たちの運動を知って頂くために、機関紙を充実させ発信してまいります。

日本青年会議所、関東地区、埼玉ブロック協議会には、メンバーにとって数多くの学びの場が存在します。広報渉外委員会は、それらの機会を生かし、各種大会やセミナー等、積極的に有益な情報を入手し、メンバーの成長につながる場を多く発信してまいります。さらに春日部青年会議所を代表し、出向するメンバーと広報渉外委員会が連携をし、活躍の場を発信すると共に多くのメンバーで活動する場へと赴き、応援してまいります。なぜならば多くのメンバーの応援は、出向者にとって、力強い心の支えとなるからです。そして、そこで出向メンバーが得た学びは必ず今後の春日部青年会議所に還元されることでしょう。

春日部青年会議所の運動は、行政、地域企業、先輩諸氏から多大なるご支援、ご協力、ご賛同があるからこそ55年もの間、長きに亘り運動を続けることができました。私たちはその大切なつながりに感謝を忘れず、より強固にすることでさらに力強い運動が地域に展開されることでしょう。今後も信頼関係を築くために、各関係者の皆様からの要請や、お問い合わせを含むすべての連絡調整については感謝の気持ちを常に持ち、誠意ある対応をしてまいります。

広報渉外委員会は一年を通じて、「凡事徹底」を胸に、どんな当たり前のことも徹底的に行う気持ちで臨んでまいります。

一年間よろしくお願いたします。

【事業計画】

- (1) 専務理事の補佐。
- (2) 新春賀詞交流会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (3) 2月例会の調査・研究・計画・立案・実施。
- (4) 慶弔に関すること。
- (5) 広報に関すること。
- (6) 公益社団法人日本青年会議所、関東地区協議会、埼玉ブロック協議会との連絡調整。
- (7) 各種大会の案内・手配及び出向者に関すること。
- (8) 行政その他、地域の諸団体との渉外に関すること。
- (9) 例会・事業等に関する資料・写真・映像などの収集及び管理に関すること。
- (10) ホームページの管理。
- (11) 情報の収集及び提供に関すること。
- (12) じゃがいもの計画・立案・実施。
- (13) 会員の拡大に関すること。
- (14) 会員の参加意識の高揚と出席率の向上に関すること。
- (15) 中期運動指針に関すること。
- (16) 創立55周年に関すること。

じゃがいも 基本方針

絆を育む

キャプテン 厚川 雅信

公益社団法人春日部青年会議所のじゃがいもゴルフコンペは現在に至るまで長きに亘り、現役メンバーと先輩諸氏の方々の交流の場として開催され続けてきました。特にじゃがいもゴルフコンペは、普通のゴルフコンペとは違い春日部青年会議所の歴史を紡いでこられた先輩諸氏と現役メンバーがゴルフを通して交流することで、春日部青年会議所の歴史や伝統を知ることができるとても貴重な場となります。

また、久喜青年会議所との合同じゃがいもゴルフコンペも昨年で第41回が開催されました。同じ志の友との絆を育む交流は、今現在も途絶えることなく脈々と受け継がれており、この礎を築いて頂きました春日部青年会議所、久喜青年会議所の先輩諸氏に改めて深く感謝申し上げます。

私はゴルフ自体まったくうまくないため、正直参加すると迷惑になるのではないかと思います、じゃがいもゴルフコンペを避けている時期がありました。ただ、少し勇気を出して参加してみると、そんなことはなく、ゴルフというスポーツを通して日頃は中々お会いすることができない春日部青年会議所、久喜青年会議所の先輩の方々から現役時代の苦労話や楽しいお話などたくさんお話することができる貴重な機会だと知りました。

そして、久喜青年会議所のメンバーとは現役同士、お互いの例会、事業の話から仕事の話まで様々な話ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

参加してみて、じゃがいもという交流があるからこそ普段は中々お会いできない先輩諸氏や久喜青年会議所との絆が育まれると感じました。

現役メンバーの中には、まだじゃがいもへの参加をしたことがない方もいらっしゃると思いますが、じゃがいもはゴルフだけではありません。多くのメンバーと共に先輩諸氏また久喜青年会議所メンバーと青年会議所のこと、家庭のこと、仕事のことを気軽に相談できる絆づくりをしていきましょう。本年度は、初心者の方でも交流を楽しんでいただけるようにしていきたいと思えます。

一年間よろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) ジャがいも春場所の実施。
- (2) ジャがいも秋場所（公益社団法人久喜青年会議所との合同）の実施。
- (3) ジャがいも練習会の実施。
- (4) 会員との親睦を図る事。

サッカー部 基本方針

サッカーで地域交流

サッカー部 キャプテン 中野 雄一

私はサッカー経験がありませんが、息子がサッカーをやっています。息子がサッカーを始めるまでルールすら知りませんでした。ですが、サッカーを通じて世代の違う様々な方と知り合う事が出来ました。そのため、サッカーをきっかけにして様々な人との交流が図れると考えています。

今年のサッカー部は、歴代キャプテンを務められた方々の意思である「誰でも気軽に参加できる雰囲気・環境作り」を受け継ぎ、年齢・性別関係なく誰でも継続的に参加できるようにいたします。サッカー部の活動は、月2回を目標に開催したいと思います。

サッカーをやった事が無くても少し体を動かしたいと思っている方、少しの時間の参加や見学するだけでも歓迎いたしますので是非皆様と一緒にサッカーを通して春日部青年会議所を盛り上げたいと思います。

また、練習会の他に、懇親会を設けて参加する皆様が同じ仲間として親睦を深める環境を作りたいと思います。

メンバーだけではなく、諸先輩方や地域の子ども達が気軽に参加できる場を提供していきたいと思いますので、一年間よろしく願いいたします。

【事業計画】

- (1) 練習会の実施。
- (2) 全国大会への参加。
- (3) 会員との親睦を図ること。